

# 岩手県立大学 年報 平成28-29年

Iwate Prefectural University  
Annual Report 2016-2017



2018  
20th Iwate Prefectural University



岩手県立大学  
Iwate Prefectural University

# 岩手県立大学

Iwate Prefectural University

「自然」、「科学」、「人間」が調和した  
新たな時代を創造することを願い、  
人間性豊かな社会の形成に寄与する、  
深い知性と豊かな感性を備え、  
高度な専門性を身につけた  
自律的な人間を育成する大学を目指す。

(岩手県立大学「建学の理念」)

## 岩手県立大学の沿革

- 1951年4月 岩手県立盛岡短期大学開学
- 1990年4月 岩手県立宮古短期大学開学
- 1998年4月 岩手県立大学開学。初代学長に西澤潤一氏が就任
- 2000年4月 大学院を開設[ソフトウェア情報学研究科博士前期課程・同後期課程／総合政策研究科博士前期課程]
- 2002年4月 大学院を開設[看護学研究科博士前期課程／社会福祉学研究科博士前期課程／総合政策研究科博士後期課程]
- 2004年4月 大学院を開設[看護学研究科博士後期課程／社会福祉学研究科博士後期課程]
- 2005年4月 公立大学法人として新たにスタート。谷口誠学長が就任  
第一期中期目標・中期計画期間スタート  
岩手県立大学地域連携研究センター設置
- 2006年4月 盛岡駅西口にアイーナキャンパスを開設  
共通教育センター設置
- 2009年4月 中村慶久学長が就任
- 2011年4月 第二期中期目標・中期計画期間スタート  
いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター(i-MOS)設置  
地域政策研究センター設置
- 2013年4月 高等教育推進センター設置
- 2014年4月 共通教育センターを高等教育推進センターへ統合
- 2015年4月 鈴木厚人学長が就任
- 2017年4月 第三期中期目標・中期計画期間スタート



“いわて創造人材の育成と  
地域の未来創造に貢献する大学”

[未来を切り拓く力を高める教育]

[未来創造に資する地域貢献]

[教育と地域貢献の根幹となる高い研究力]



### 滝沢キャンパス

看護学部・社会福祉学部・  
ソフトウェア情報学部・  
総合政策学部・盛岡短期大学部・  
高等教育推進センター

〒020-0693  
岩手県滝沢市巢子 152-52  
TEL 019-694-2000 FAX 019-694-2001  
〈施設概要〉敷地面積(実測) 35.1ha  
建物面積(延べ床) 81,304㎡

地域連携棟(i-MOS,地域政策研究センター)

〒020-0611  
岩手県滝沢市巢子 152-89  
TEL 019-694-3330 FAX 019-694-3331



### 宮古キャンパス

宮古短期大学部

〒027-0039 岩手県宮古市河南 1-5-1  
TEL 0193-64-2230 FAX 0193-64-2234  
〈施設概要〉敷地面積(実測) 5.6ha  
建物面積(延べ床) 8,664㎡



### アイーナキャンパス

サテライトキャンパス

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1  
いわて県民情報交流センター(アイーナ)7階  
TEL 019-606-1770 FAX 019-606-1771



## 平成28-29年度 岩手県立大学年報 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| ▶ 地域貢献の活動状況         | 04 |
| ▶ 平成29年度計画          | 08 |
| ▶ 平成28年度実績          | 10 |
| ▶ 平成28年度財務状況        | 12 |
| ▶ 学生の状況             | 16 |
| 平成29年度学生数及び入学者選抜の状況 | 16 |
| 平成28年度の卒業者及び就職の状況   | 18 |
| ▶ 組織図               | 22 |
| ▶ 役職員               | 23 |

## 新たな価値を創造し、地域の未来に貢献する大学を目指して

岩手県立大学は、東日本大震災津波からの復興とその先を見据えた地域の未来づくりに寄与し、地域社会をリードするため、平成29年度から6年間の第三期中期計画を着実に実行しながら、「いわてで創造人材の育成と地域の未来創造に貢献する大学」を目指しています。

この実現のため、いわての「豊かなふるさと」の創生を支えるための戦略的な研究活動を強化し、外部研究資金の更なる獲得に努めながら、地域の課題解決や活性化に寄与する研究の推進と積極的な研究成果の発信に取り組んでいます。

また、地域の「知の拠点」として、いわての未来を創造する人材を育成するとともに、豊かなふるさとづくりや地域の課題解決に貢献する研究成果の還元や多文化共生社会に対する理解を醸成する地域の国際化の支援に取り組んでいます。

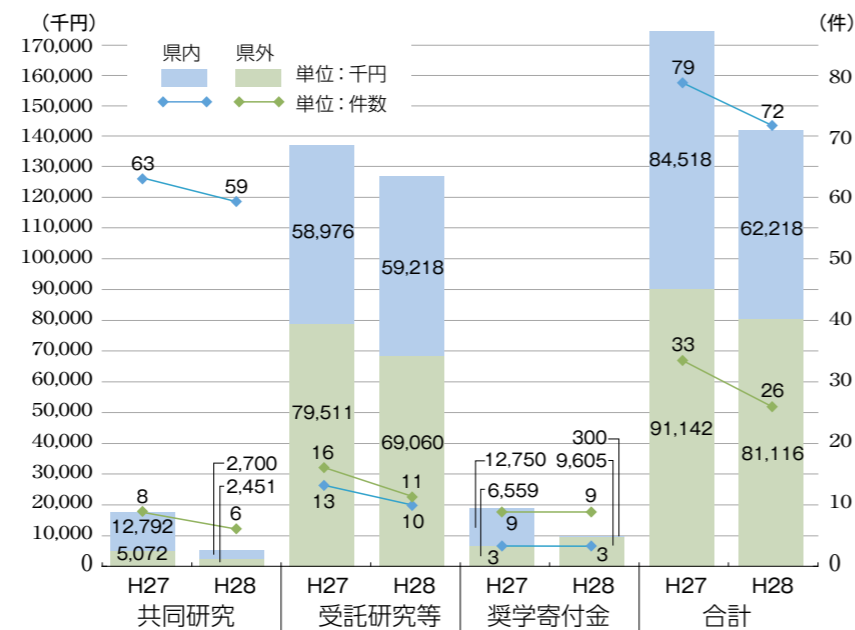
## 地域課題の解決や活性化に寄与する研究の推進と研究成果の還元の取組状況

平成29年度の科学研究費助成事業(科研費)の応募は対前年度80%増となる108件(対前年度48件増)、採択は対前年度38%増の22件(対前年度6件増)となっています。

平成28年度の共同研究、受託研究等、奨学寄附金は、獲得件数、金額いずれも前年度を下回り、合計で98件(対前年度14件減)、143,334千円(対前年度32,326千円減)となりました。

また、地域貢献や研究成果の還元の一環として実施している公開講座は、平成28年度、滝沢・宮古の各キャンパスや盛岡のアイーナキャンパスのほか、滝沢市、洋野町に出向いての地区講座、更には各学部等においてもそれぞれの専門性を生かした講座等を活発に行うなど、延べ79講座を開催し、3,206人の参加がありました。

更に、本学では「まち・ひと・しごと創生法」(平成26年制定)に基づき、県や県内市町村の人口減少対策等に関する総合戦略等の策定やその推進に対して、それぞれの課題やニーズに応じて必要な支援を行っています。



| 科研費の新規採択率 | H28年度 | H29年度 |
|-----------|-------|-------|
| 応募 (A)    | 60件   | 108件  |
| 採択 (B)    | 16件   | 22件   |
| 採択率 (B/A) | 26.7% | 20.4% |

| H28年度公開講座の開催状況 | 講座数 | 受講者数(人) |
|----------------|-----|---------|
| 滝沢キャンパス講座      | 5   | 610     |
| 宮古キャンパス講座      | 1   | 91      |
| 地区講座(滝沢市・洋野町)  | 2   | 74      |
| アイーナキャンパス講座    | 34  | 1,325   |
| 各学部等主催講座       | 37  | 1,106   |
| 合計             | 79  | 3,206   |

## 平成29年度 全学競争研究費による研究の推進

平成29年度に学内研究資金の制度を再編し、将来的に大型かつ学内外による学際連携型外部資金の獲得を目指す全学競争研究費を創設しました。この研究費では、岩手県が抱える「震災復興」や「人口減少」、「産学連携」および「多文化共生」を含む社会的な様々な課題に対して、独創的かつ先進的な研究活動を通じて、新たな価値を創造し、地域の未来づくりへの貢献を目指しています。

### 平成29年度全学競争研究費採択課題

| No | 研究課題名  | 研究代表者     | 所属         | 研究期間    |
|----|--|-----------|------------|---------|
| 1  | 小児期発症1型糖尿病移行医療システムの構築  | 教授 高橋 和真  | 看護学部       | H29~H31 |
| 2  | 過疎地域の高齢者の生活を支える地域包括ケアに関する基礎的研究   | 講師 岩淵 光子  | 看護学部       | H29~H30 |
| 3  | Supply Chain 3.0の実現: Internet of Moving Things (IoMT)技術の開発                   | 教授 村田 嘉利  | ソフトウェア情報学部 | H29~H31 |
| 4  | 空間的にシームレスな局所的通信システムの実用化へ向けた小型化および通信特製の検証                                     | 准教授 新井 義和 | ソフトウェア情報学部 | H29     |
| 5  | IoT向けAIエンジンの小型化実装に関する研究  | 教授 佐藤 裕幸  | ソフトウェア情報学部 | H29~H30 |
| 6  | 持続可能で受容可能な地域内次世代モビリティ検討支援の方法論の開発   | 准教授 後藤 裕介 | ソフトウェア情報学部 | H29~H31 |
| 7  | 難聴者のライフスタイルを支援するシステムの構築  | 教授 布川 博士  | ソフトウェア情報学部 | H29~H31 |
| 8  | 整形外科分野に特化したスマート手術支援システムの研究開発とその臨床応用  | 教授 土井 章男  | ソフトウェア情報学部 | H29~H30 |
| 9  | BLEビーコンを利用した屋内・暗所に対応可能なUAV自動制御   | 准教授 岡本 東  | ソフトウェア情報学部 | H29~H31 |
| 10 | ユニバーサルツーリズム安心システムのコンテンツ収集・更新方法に関する研究   | 教授 阿部 昭博  | ソフトウェア情報学部 | H29~H31 |
| 11 | 歴史的・文化的要因を考慮に入れた生活復興感の指標化—災害復興政策の充実を意図して                                     | 講師 平井 勇介  | 総合政策学部     | H29~H31 |
| 12 | 被災地沿岸部の水産業における高付加価値化及び企業間連携による協業化の効果と課題                                      | 准教授 近藤 信一 | 総合政策学部     | H29~H31 |
| 13 | 岩手から創造・発信する復興コミュニティ(災害公営住宅)の新しい形作りの実践と検証                                     | 教授 倉原 宗孝  | 総合政策学部     | H29~H30 |
| 14 | 明治期女子教育の先覚者である淵澤能恵女史の女子教育活動に関する調査—保護国韓国~植民地朝鮮期における女学校設立と学校運営及び女子専門学校設立に至るまで— | 教授 姜 奉植   | 高等教育推進センター | H29~H31 |
| 15 | 有賀同族団論の再検討:八幡平市・石神調査の歴史的位相   | 准教授 三須田善暢 | 盛岡短期大学部    | H29~H31 |
| 16 | 機能性食品の開発に向けた海産新規飽和脂肪酸の構造決定と生物活性探索  | 教授 川島 英城  | 宮古短期大学部    | H29     |

## 平成29年度 地域政策研究センターによる研究の推進

「実学・実践重視の教育・研究」を基本的方向のひとつとする本学では、県民のシンクタンク機能のさらなる充実強化を図るため、平成23年に地域政策研究センターを設置しました。「地域目線」で県民が抱える課題・ニーズに向き合い、多様な専門分野の研究者が、自治体やNPO、企業との協働により、地域課題を解決するための研究を行っています。

### 東日本大震災津波からの復興加速化プロジェクト研究

岩手県の最重要課題である「震災復興」に取り組む地域政策研究センターでは、被災地のニーズの多様化や諸課題の解決に対処するため、平成26年度から「より直接的に被災地の復興に寄与する研究」にシフトし、大規模かつ複数年度にわたって取り組む研究活動を進めています。

### 平成28年度採択課題【研究期間: H28年6月~H30年3月】

| No | 研究課題名   | 研究代表者     | 所属     |
|----|---|-----------|--------|
| 1  | ICTを活用した孤立防止と生活支援型コミュニティづくり—釜石モデルをもとに岩手県全域での普及を目指して | 教授 小川 晃子  | 社会福祉学部 |
| 2  | 岩手県沿岸地域における水産加工流通業等のバリューチェーン強化による復興促進効果の解明          | 准教授 新田 義修 | 総合政策学部 |

## ●地域協働研究

本学では、県内の地域団体等(自治体、地域団体、NPO、企業等)からの提案を受け、「震災復興」や「安全・安心な暮らし」、「多文化共生」などの地域課題の解決に向けて、当該団体等との共同研究に取り組んでいます。平成29年度からは、課題解決プランの策定を支援する「ステージI」(研究期間:単年度)と研究成果を課題解決に応用するための活動を支援する「ステージII」(研究期間:2か年度)を設けて、それぞれの課題・ニーズに対応した研究活動を展開しています。

### ■ステージI 【研究期間:平成29年6月~平成30年3月】

| No | 研究課題名   | 研究代表者       | 所属         | 共同研究者(提案者団体名)                    | 研究フィールド          |
|----|---|-------------|------------|----------------------------------|------------------|
| 1  | 一関における発達障がい児に対する支援システムの課題と社会資源の連携に関する調査研究                                     | 准教授 佐藤 匡仁   | 社会福祉学部     | NPO法人子育て支援いっすね                   | 一関市              |
| 2  | 岩手県における被災・被害段階の高齢者・障害者に対する「入口支援」の地域協働システムのあり方に関する調査研究                         | 教授 田中 尚     | 社会福祉学部     | 一般社団法人かな社会事業事務所                  | 花巻市、北上市、遠野市、西和賀町 |
| 3  | 地域包括ケアシステムに対応した厚生事業の展開  | 教授 狩野 徹     | 社会福祉学部     | 岩手県厚生農業協同組合連合会                   | 盛岡市              |
| 4  | 地域包括ケアシステムの評価に関する研究   | 准教授 齋藤 昭彦   | 社会福祉学部     | 岩手県保健福祉部長寿社会課                    | 岩手県全域            |
| 5  | 中山間地域における、外部資源を活用した地域の生活支援ニーズ・シーズのマッチングシステムの構築                                | 准教授 庄司知恵子   | 社会福祉学部     | 北地区地親交会                          | 奥州市              |
| 6  | 保育施設と自治体をつなぐICTの実証的研究   | 准教授 井上 孝之   | 社会福祉学部     | 岩手県保健福祉部子ども子育て支援課                | 盛岡市              |
| 7  | 3Dプリンタによる景勝地(ジオポイント)、三王岩と津波石のモデル作成と活用   | 教授 土井 章男    | ソフトウェア情報学部 | NPO法人立ち上げるぞ!宮古市田老                | 宮古市              |
| 8  | 史跡・名勝等のメディアシステムによる記憶保存活用  | 教授 土井 章男    | ソフトウェア情報学部 | 盛岡市教育委員会                         | 盛岡市              |
| 9  | 自転車競技用トレーニングシステムの開発と地域活性化   | 講師 佐藤 永欣    | ソフトウェア情報学部 | 岩手県立紫波総合高校、株式会社ケアルマニファクチャリングジャパン | 紫波町              |
| 10 | 若者に対する「盛岡もの織り検定」を通じた地元学の普及と継続   | 准教授 高木 正則   | ソフトウェア情報学部 | 盛岡商工会議所                          | 盛岡市              |
| 11 | 岩手県の森林・林業の再生に向けたICT活用による森林所有者への災害対策意識強化                                       | 講師 南野 謙一    | ソフトウェア情報学部 | 岩手県森林組合連合会                       | 盛岡広域8市町村         |
| 12 | 台風10号災害からの復興に向けた農業を核とした地域活性化の取組~釜石市橋野地区を事例として~                                | 教授 吉野 英岐    | 総合政策学部     | 岩手県農林水産部農村計画課                    | 盛岡市              |
| 13 | 釜石市中央市街地の再生に向けた商店街活性化の研究  | 教授 吉野 英岐    | 総合政策学部     | 釜石市産業振興部商業観光課                    | 釜石市              |
| 14 | 定住自立圏構想推進   | 教授 山本 健     | 総合政策学部     | 一関市市長公室政策企画課                     | 一関市、平泉町          |
| 15 | 市民参加による木賊川遊水地の希少生物緊急保全対策  | 准教授 辻 盛生    | 総合政策学部     | たきざわ環境パートナー会議                    | 滝沢市              |
| 16 | 重茂半島の海と陸を経由するエコツアーコースの開発  | 教授 平塚 明     | 総合政策学部     | 野崎産業                             | 宮古市              |
| 17 | 滝沢森林公園における農耕馬を活用した利用のありかたに関する研究   | 教授 渋谷晃太郎    | 総合政策学部     | NPO法人乗馬とアニマルセラピーを考える会            | 滝沢市              |
| 18 | 三陸地域における観光の地域経済への波及効果のための産業関連連携の作成  | 教授 ティーキャンヘン | 総合政策学部     | 公益財団法人さんりく基金                     | 沿岸12市町村          |
| 19 | 地域住民との協働による絶滅危惧種タナゴの生息地外保全の試行   | 講師 鈴木 正貴    | 総合政策学部     | 農事組合法人農の未来 武道                    | 盛岡市              |
| 20 | 健全な都市環境形成に向けた地方都市からの実践研究~資源としての空き家等の活用および移動・交流体型の確立を通じた市民・各主体参画による都市モデル形成と検証~ | 教授 倉原 宗孝    | 総合政策学部     | 盛岡劇場界隈まちづくり推進 会、株式会社PCM          | 盛岡市              |
| 21 | 史跡や文化財の国際化対応  | 教授 松本 博明    | 盛岡短期大学部    | 盛岡市教育委員会                         | 盛岡市              |
| 22 | 空き家を活用した低コスト改修計画における断熱の提案   | 教授 松村光太郎    | 盛岡短期大学部    | 花巻市地域振興部定住推進課                    | 花巻市              |
| 23 | 外国人の医療環境整備へ向けた取組に関する研究  | 教授 石橋敬太郎    | 盛岡短期大学部    | 北上市まちづくり部生涯学習文化課                 | 北上市              |
| 24 | 中心市街地の活性化に向けた市民の連携と地域資源の活用に関する実践研究  | 准教授 内田 信平   | 盛岡短期大学部    | 宮古市企画部復興推進課                      | 宮古市              |

### ■ステージII 【研究期間:平成29年6月~平成31年3月】

| No | 研究課題名                         | 研究代表者        | 所属         | 共同研究者(提案者団体名)   | 研究フィールド      |
|----|-------------------------------|--------------|------------|-----------------|--------------|
| 1  | バーチャルリアリティを活用した丸戸城跡の可視化に関する研究 | 准教授 プリマオキディキ | ソフトウェア情報学部 | 二戸市産業振興部商工観光流通課 | 二戸市          |
| 2  | 栗駒山火山ハザードマップの普及啓発に関する研究       | 教授 伊藤 英之     | 総合政策学部     | 岩手県総務部総合防災室     | 一関市          |
| 3  | 小中連携したシームレス防災学習プログラムの開発と実践    | 教授 伊藤 英之     | 総合政策学部     | 川口中学校区ファミリースクール | 岩手町          |
| 4  | 空家対策の法的対応の検討(市町村条例のバージョンアップ等) | 特任准教授 千葉 実   | 研究・地域連携室   | 岩手県国土整備部建築住宅課   | 盛岡市、北上市、西和賀町 |

## column 1

### 地域協働研究<ステージII>

## 小中連携したシームレス防災学習プログラム開発と実践

東日本大震災以降、自然災害を対象とした防災教育への社会的な関心が高まっている中、本学では総合政策学部の伊藤英之教授が中心となり、平成25年度から岩手町立川口中学校と連携し、持続的な防災学習を展開しています。

平日の昼夜人口の変動が著しい同町では、高齢者など災害要援護者が多く、自然災害が発生した場合、小中学校の生徒が地域防災において重要な役割を担うことが期待されています。

これまで、川口中学校の生徒を対象に実施してきた防災授業や宮古市田老地区での防災体験学習等を通して、自然災害に対する意識変容や行動変容が認められてきており、一定の教育効果がありました。また、教員自らがわずかな準備で防災学習授業を行うことがで

きるプログラム構築などバックグラウンドが形成されてきました。

平成29年度からは、川口中学校区(川口小学校、久保小学校)を対象を拡大し、小学校高学年から中学卒業までシームレスに地域防災学習を行い、住民との交流によるレジリエントな地域づくりと次世代の地域防災リーダーの育成を目指します。また、大学の関与なしに持続的に実施可能な地域防災学習プログラムの開発と実践を行い、全県に適用可能なプログラムの検討を行います。



3Dプリンターを使ったハザードマップ学習

## ▶平成29年度開催の主な公開講座

| 講座            | 開催日(時期)         | 場所                | 内容                                       |  |
|---------------|-----------------|-------------------|--|--|
| 滝沢キャンパス講座     | 7月22日~8月5日(3日間) | 滝沢キャンパス           | 「ここからはじまる、いわての未来」をテーマにした7講座              |  |
| 高度技術者養成講習会    | 7月~2月           | 滝沢キャンパス           | 付加価値の高い新技術の提案力を備えた技術者の養成を目的とした18講座       |  |
| 公共政策フォーラム     | 10月27日          | エスポワールいわて(盛岡市)    | 「政策法務における発想の柔軟性」をテーマに自治体職員等を対象にしたフォーラム   |  |
| 地方創生公開セミナー    | 12月16日          | 大船渡市魚市場           | 「地域創生の先にあるもの」をテーマにしたセミナー                 |  |
| Rubyプログラミング教室 | 7月27日~7月29日     | 滝沢キャンパス           | 滝沢第二中学校を対象にしたRuby言語による実習を通じたプログラミング基礎の学習 |  |
| 自治体との連携講座     | 滝沢市睦大大学教養講座     | 9月4日              | 滝沢ふるさと交流館(滝沢市)                           | 滝沢市民福祉センターとの連携による「憂いなく暮らす」をテーマにした講座                |
|               | 北上市多文化共生講演会     | 12月2日             | 北上市生涯学習センター                              | 北上市との連携による「外国人が安心できる医療環境を考えてみよう」をテーマにした講演会         |
|               | ひろの町民大学講座       | 2月17日             | 洋野町民文化会館                                 | 洋野町教育委員会との連携による生涯学習推進を目的とした講座                      |
| 民間企業との連携講座    | 「脳活音読」一日体験講座    | 4月14日             | アイーナキャンパス                                | (株)岩手日報社主催カルチャースクール「脳活音読」に講演「歳はとっても脳は成長する」を加えた特別講座 |
|               | いわて観光地域づくり講座    | 10月6日~11月10日(4日間) | 滝沢キャンパスほか                                | 東日本旅客鉄道株との連携による将来の岩手の観光振興を担う人材育成を目的とした講座           |

## ▶市町村に対する地方創生の取組支援の状況

| 対象   | 平成27年度   | 平成28・29年度   |
|------|--|---|
|      |  | 総合戦略等の策定  |
| 支援内容 | 支援の程度により3ランクに区分し市町村が選択                                       |   |
|      | 【サポートA】13市町村<br>①情報提供 ②有識者会議委員等としての参画<br>③総合戦略等事務局案策定の指導・助言等 | 【サポート1】平成28年度:6市町、平成29年度:4市町<br>①情報提供 ②推進・進捗管理会議委員等としての参画<br>③総合戦略掲載事業等実施の際の個別の指導・助言等(例)協議会の設立等、事業構想等の立案、調査、進捗管理等 |
|      | 【サポートB】11市町村<br>①情報提供 ②有識者会議委員等としての参画                        | 【サポート2】平成28年度:18市町村、平成29年度:18市町村<br>①情報提供 ②推進・進捗管理会議委員等としての参画   |
|      | 【サポートC】9市町村<br>①情報提供   | 【サポート3】平成28年度:9市町村、平成29年度:11市町村<br>①情報提供  |

## column 2

## 市町村の地方創生を支える政策法務の支援

本県の市町村も直面している人口減少対策が地方創生の中心ですが、そのためには、さまざまな政策を実施しなければなりません。それを下支える取組の一つとして、自治体が「政策を実現するため、法律や条例等を主体的に柔軟かつ適切に用いる」政策法務の実践があります。本学は、そのための市町村支援を行っています。

例えば、全てと云っていい市町村が困っている空き家対策があります。特別措置法が制定・施行され二年半を経過しましたが、崩れている家屋の解体の「代執行」はあるものの、崩れている「最中」または「一歩手前」の家屋を、自治体が「実力行使」して切り抜ける「即時執行」が規定されていないなど不十分です。本県でも4市町が独自に条例を制定・運用し対策を講じていますが、費用徴

収で困っており、それに対応できる条例改正等の支援を行っています。条例を制定しようとしている市町村についても同様です。このように、本学が「シンクタンク」として有する専門知識等で県や市町村等を支援していきます。



空家対策の法務的対応に関する研究の成果発表会

## 公立大学法人岩手県立大学第三期中期目標

平成29年4月から、第三期中期計画がスタートしました。

### “いわて創造人材の育成と地域の未来創造に貢献する大学”

未来を切り拓く力を高める教育／

未来創造に資する地域貢献／

教育と地域貢献の根幹となる高い研究力

### 第三期中期計画 (H29.4.1 ~ H35.3.31)

#### 教育

全学的な教学マネジメントの下、各学部の特性にに応じた「いわて創造人材」を育成

#### POINT

いわての「未来を創造する人材」を育成するため、産業界・地域等との連携のもと、いわてをフィールドとした地域志向教育の充実と学生の主体的学修を促す能動的学習の推進

#### 研究

教育と地域貢献を支える研究活動の強化

#### POINT

いわての「豊かなふるさと」の創生を支えるための戦略的な研究活動の強化

#### 地域貢献

地域の「知の拠点」として、地域の課題解決とグローバル化に対応

#### POINT

いわての「グローバル化」を促進するための多様な文化や価値観の理解促進支援ネットワークの構築

#### 業務運営等

教育研究活動を支える自主的・自律的な法人運営



## 平成29年度の主な計画

### 教育

全学的な教学マネジメントの下、各学部の特性にに応じた「いわて創造人材」を育成

- 「いわて創造教育プログラム」を展開しつつ、平成30年度キャップストーン科目の開講に向けた授業計画等の整備
- 短期海外研修プログラムの見直しと多文化理解促進講座の開催
- 中長期実践型、復興支援型等の多様なインターンシップの推進

### 研究

教育と地域貢献を支える研究活動の強化

- 学外ニーズと学内シーズの積極的なマッチング等による外部研究資金の獲得促進
- データベース化による研究成果の情報発信と知的財産に係る技術移転ロードマップの作成

### 地域貢献

地域の「知の拠点」として、地域の課題解決とグローバル化に対応

- 地域政策研究センター及びいわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンターにおける産学公連携による共同研究の推進
- 県内の外国人が直面している問題や各地域で外国人の支援に取り組んでいる団体の課題の把握。多文化共生社会の実現に向けたキャラバン活動の実施
- これまでの震災復興関連の取組に関する評価の実施。災害復興支援センターをはじめとする本学の震災復興支援体制の方向性の決定

### 業務運営等

教育研究活動を支える自主的・自律的な法人運営

- 戦略的な教育研究活動及び大学運営を行うためのデータを分析・活用・情報発信する組織体制の整備方針の策定
- 教育研究組織の見直しに係る工程表の策定と組織体制の素案の作成
- 本学の男女共同参画に関する取組方針の策定とそれに基づく休日出勤を要する教職員のための臨時託児所の開設や研修会の開催
- 大学施設や学生寮の大規模改修と情報サービスサーバーシステム等を更新。第5次岩手県立大学情報システム整備計画の策定



## 第二期中期計画(H23.4.1～H29.3.31)

### “地域の中核人材育成と活力創出に貢献する大学” 学生目線／地域目線



#### □ 平成28年度の主な業務実績

第二期中期計画期間の最終年度として、中期目標の達成に向けた取組を進めるとともに、東日本大震災津波による被災学生や被災地等の支援にも積極的に取り組むこととし、復興支援の取組についても平成28年度計画に組み入れて計画を策定しました。

##### I. 入学志願者の戦略的な確保

- 大学全体で連携し、教育研究組織の検証を行い、「教育研究組織の見直し方針」を策定
- 志願者確保に向けて、保護者を対象とした相談会(バスツアーを含む)を4箇所で開催したほか、県内外の進学相談会等への参加や高校訪問を実施。
- 大学院入学料免除制度に関するアンケートの実施・検証。看護学研究科では、大学院進学説明会を4箇所で開催。
- 被災学生の授業料、入学料減免(217人)や学業奨励金「被災学生特別枠」による貸与(8人)を継続。

##### II. 体系的で一貫性のある教育プログラムの実施

- 地域志向科目(52科目)を体系化した全学部共通の副専攻「いわて創造教育プログラム」の着実な実施。
- eラーニング及びTOEIC試験を活用した新規英語

科目(2年生約450人)の開講と米国オハイオ大学への語学研修(9人)の派遣。

- ソフトウェア情報学研究科の入試募集要項等の英語化とホームページでの情報発信。国際交流協定締結校や国内大学等の研究者及び留学生等のゲストハウスを活用した学術・学生交流の実施。

##### III. 学生の就業力育成

- 企業見学会の実施や県内企業を優先した学内合同企業説明会の実施、県中小企業団体中央会と連携した各種セミナー・イベントへの参画。
- 県内3大学の連携によるインターンシップの受入れ先事業所(167事業所)及び参加学生数(290人)の拡大。「インターンシップin東北」の参加校の拡大による相互乗り入れシステム(10人)の拡充。
- 合同就職説明会、県内の病院等の就業を体験する看護学生のためのサマーセミナー、県内の看護師等を講師とした看護を学ぶキャリアセミナーの実施。社会福祉学部による学部就職セミナーの実施。
- 公務員対策講座の継続実施と公務員試験対策相談コーナーの開設。

##### IV. 地域に評価される研究推進、公表

- 情報発信の方法や内容を見直し、ホームページやYouTube、機関リポジトリの多様なツールを活用して研究成果発表会等の研究成果を発信。
- 外部有識者のほか、新たに学内アドバイザーによる外部資金申請のためのアドバイスを導入し、22件のブラッシュアップ支援を実施。科研費応募件数(108件)、採択件数(22件)が増加。
- 研究メニューの統廃合など学術研究費の見直しを実施し、平成29年度から新制度での運用開始を決定。
- 震災復興や専門領域の研究による地域課題解決に資する研究として学部プロジェクト研究59件を実施。

##### V. 産学公連携事業の強化

- 地域協働研究は61件、復興加速化プロジェクト研究は3件実施。地方創生支援チームの活動を通じて、地方創生総合戦略の展開・進捗管理・評価等の支援のため、24市町村が設置する進捗管理委員会等に教員延べ24人を派遣。
- enPiT事業の一環として、ソフトウェア情報学部のPBL(Project Based Learning)において滝沢市イノベーションセンター入居企業社員によるアドバイザー制度を導入(協業社数は9社)。同センター入居企業等との共同研究は5件実施。

- 高度技術者養成講座は、外部資金も活用して20講座を実施し、202人が受講。いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンターの研究課題は9件実施。
- オハイオ大学・本庄国際奨学財団の留学生との共同活動など震災以降継続してきた復興支援への取組の成果と課題を報告・共有するため、7月16日～17日に復興支援国際フォーラムを開催し、1日目約300人、2日目100人が参加。

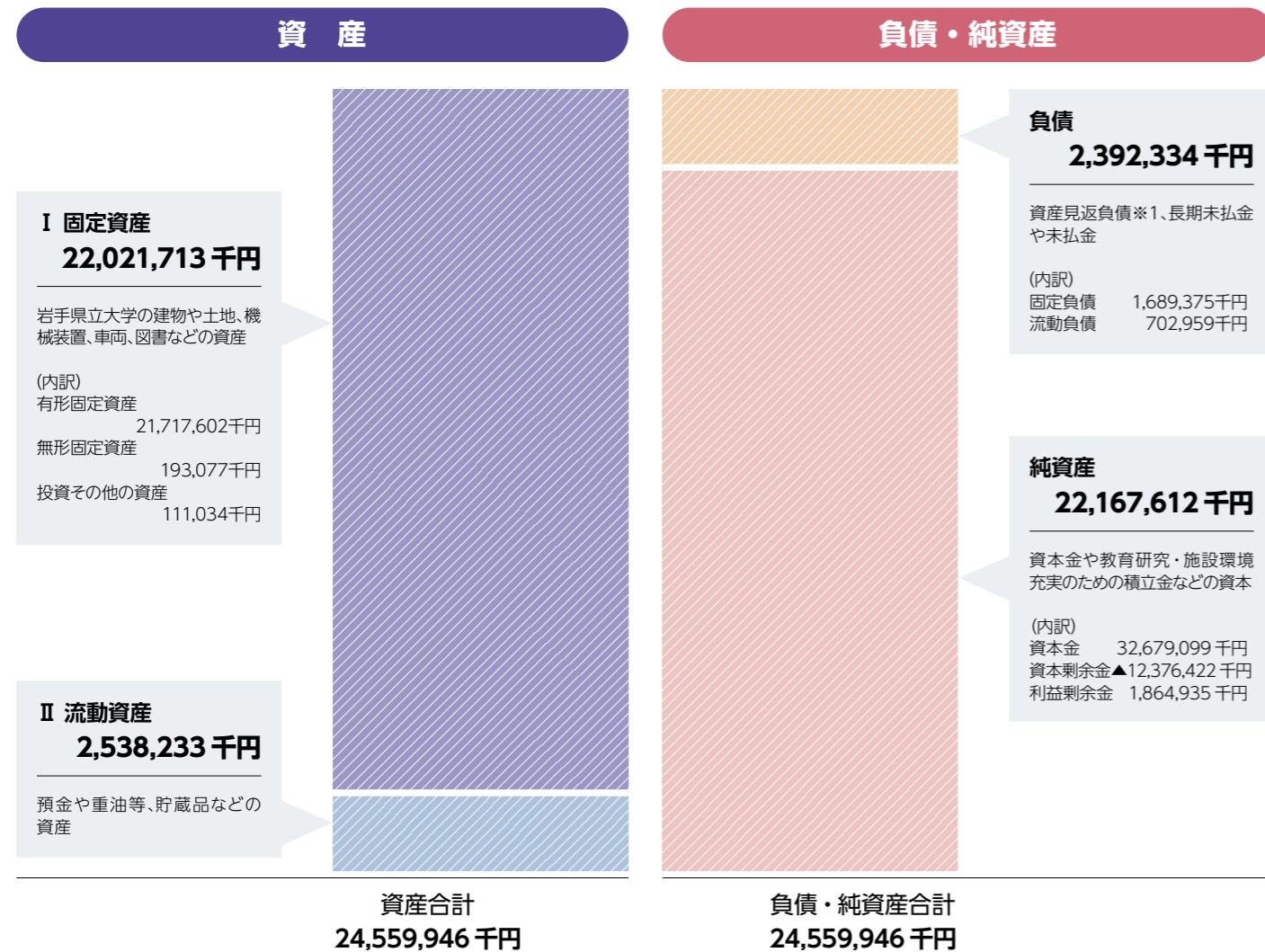
##### VI. 意欲的な教職員の育成

- 教員業績評価制度の運用の問題についてアンケート調査を実施し、評価方法の運用の見直しを決定。教員業績評価要綱を改正。
- 「FD・SDの日」を2日間設定し、高等教育セミナーを2回開催。教職員181人と参加者が倍増。
- 平成28年度サバティカル研修制度について2人が取得したほか、平成27年度取得者による学内報告会等の実施。
- 人材育成ビジョン&プランに基づき、平成28年度研修実施計画を体系的に作成し、外部派遣研修(38人)、教職協働のための本部長カフェ(36人)を実施したほか、新たに文書作成等の実務に係る研修(延べ110人)を実施。
- イベント時の臨時託児の対象を拡大し、利用日を9日に増やし実施(託児数25人)。

## 多様な資金の獲得と効果的な大学運営

平成28年度は、前年度に引き続き、競争的資金や受託研究費、共同研究費の獲得に努めたほか、積極的に国の補助金や受託事業を活用し、地域における産学共同研究事業や学生の就職支援事業、次世代の人材育成業務などに取り組みました。このほか、事業内容の見直しや重点化に努め、事務事業の効率化を図りながらコスト削減に取り組む一方で、今年度も目的積立金を財源とした「教育力強化枠」を設け、教育の質の向上に資する事業に対し計画的に予算を配分し、教育・研究活動の充実・強化に努めました。

### 岩手県立大学の財務状況 (平成29年3月31日現在)



※1 資産見返負債とは、法人が固定資産を継承・取得した場合に、当該資産の見返りとして同額を負債に計上し、減価償却処理により費用が発生する都度、取崩して収益化する、減価償却による損益計算への影響を与えないための公立大学法人特有の処理です。  
(注) 端数処理を行っているため、合計値が合わない場合があります。

## 学生及び教員一人あたりにかかる経費(平成28年度)

平成28年度の大学教育及び研究等における経費は、岩手県立大学全体で59億3,748万円でした。教育経費と教育研究支援経費、教員人件費の一部を含めた、学生一人あたりの教育経費は約87万円です。また、教員一人あたりの研究経費は約226万円です。

### ●大学教育及び研究等にかかる経費



|          |              |
|----------|--------------|
| 教育経費     | 898,586 千円   |
| 研究経費     | 485,419 千円   |
| 教育研究支援経費 | 183,385 千円   |
| 教員人件費    | 2,541,296 千円 |

### ●学生一人あたりの教育経費



|                |              |
|----------------|--------------|
| 内訳             |              |
| 教育経費           | 898,586 千円   |
| 教育研究支援経費 × 1/2 | 91,692 千円    |
| 教員人件費 × 1/2※2  | 1,270,648 千円 |



※2 教員は教育と研究を行うため、教育に係る人件費を 1/2 としました。

### ●教員一人あたりの研究経費



|                |            |
|----------------|------------|
| 内訳             |            |
| 研究経費           | 485,419 千円 |
| 教育研究支援経費 × 1/2 | 91,692 千円  |

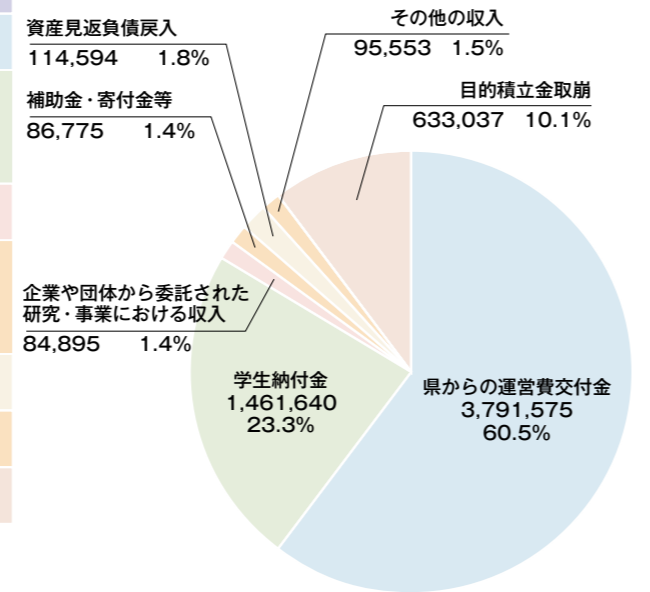


(注) 端数処理を行っているため、合計値が合わない場合があります。

## 平成28年度の収支状況<収入>

岩手県立大学における収入の60.5%は、岩手県からの運営費交付金です。授業料、入学金及び検定料、産学連携等研究収益等から資産見返負債戻入を除いた自主財源の割合は37.7%です。

| 項目        | 金額<br>(千円) | 割合<br>(%) | 備考                           |
|-----------|------------|-----------|------------------------------|
| 運営費交付金    | 3,791,575  | 60.5      | 県から運営費として<br>交付されたもの         |
| 授業料       | 1,239,916  | 19.8      | 大学独自の収入(自主財源)                |
| 入学金及び検定料  | 221,724    | 3.5       |                              |
| 産学連携等研究収益 | 84,895     | 1.4       | 企業や団体から委託された<br>研究及び事業における収入 |
| 補助金等      | 63,051     | 1.0       | 大学改革推進等補助金、<br>寄付金等          |
| 寄付金       | 23,724     | 0.4       |                              |
| 資産見返負債戻入  | 114,594    | 1.8       |                              |
| その他       | 95,553     | 1.5       |                              |
| 目的積立金取崩   | 633,037    | 10.1      |                              |
| 合計(A)     | 6,268,069  |           |                              |



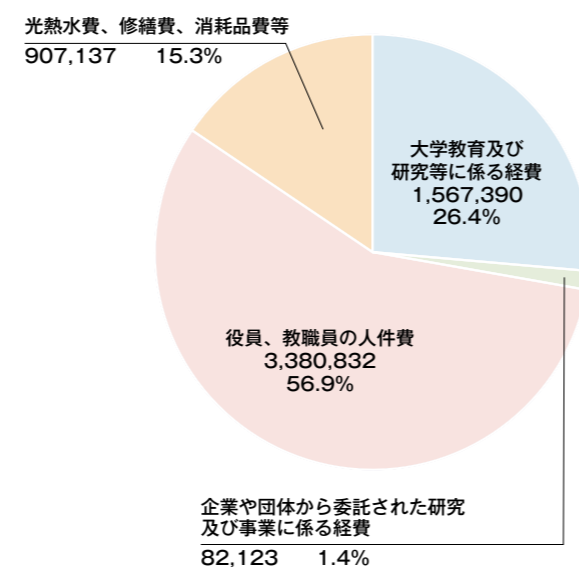
※資産見返負債戻入とは、資産見返負債から資産減価償却額の見合いを収益化したものです。

単位：千円

## 平成28年度の収支状況<支出>

支出のうち、教育および研究等に係る経費はおよそ26.4%です。

| 項目        | 金額<br>(千円) | 割合<br>(%) | 備考                              |
|-----------|------------|-----------|---------------------------------|
| 教育経費      | 898,586    | 15.1      | 大学教育及び<br>研究等に係る経費              |
| 研究経費      | 485,419    | 8.2       |                                 |
| 教育研究支援経費  | 183,385    | 3.1       |                                 |
| 産学連携等研究経費 | 82,123     | 1.4       | 企業や団体から委託された<br>研究及び事業に係る経費     |
| 役員人件費     | 9,693      | 0.1       | 役員、教員、非常勤講師<br>及び事務局等の<br>職員人件費 |
| 教員人件費     | 2,541,297  | 42.8      |                                 |
| 職員人件費     | 829,842    | 14.0      |                                 |
| 一般管理費等    | 907,137    | 15.3      | 光熱水費、修繕費、消耗品費等                  |
| 合計(B)     | 5,937,483  |           |                                 |

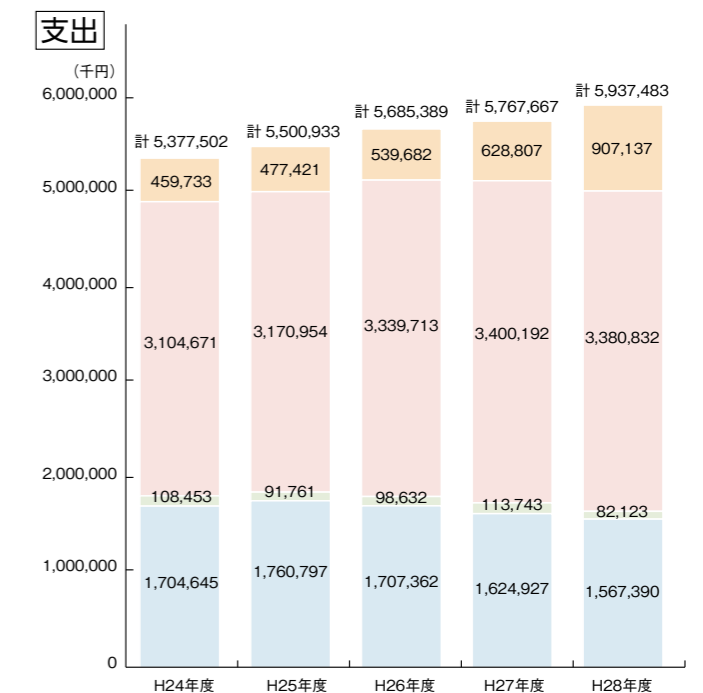
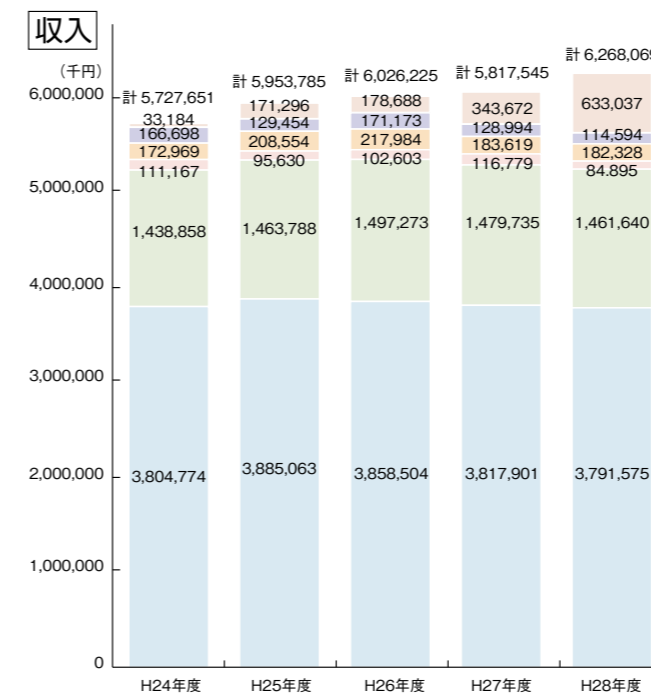


単位：千円

## 過去5年間の収支

収入については、約6割が県から交付される運営費交付金であり、算定ルールにより毎年0.7%ずつ減額されましたが、外部資金の獲得、産学連携研究収益の活用などによって収入確保に努めました。

支出については、大規模修繕の実施に伴い一般管理費が増えたことなどにより、平成28年度は支出全体で前年度比約1億6,982万円の増となっています。



■ 運営費交付金 ■ 自己収入  
■ 受託研究等事業収入 ■ その他(補助金・寄付金等)  
■ 資産見返負債戻入 ■ 目的積立金取崩

■ 教育研究費 ■ 地域等連携費  
■ 役員、教職員の人員費 ■ 一般管理費

### column 3 岩手県立大学未来創造基金

本学は平成30年に開学20周年となる節目を迎えますが、大学の運営を安定化させ、教育研究活動をさらに充実させていくための財源として、平成28年4月に「岩手県立大学未来創造基金」を設置しました。

本基金は趣旨に賛同していただける個人、法人、団体等の皆様からの寄附金(1口1,000円)及びその運用による果実をもって構成するものであり、次の事業に充てることとしています。

- 教育及び研究活動の充実を図るために必要な事業
- 学生及び外国人留学生に対する支援事業
- 産学官連携及び地域・社会貢献に係る活動を推進するために必要な事業
- 被災地の復興を支援するために必要な事業
- 施設整備及び大学運営等の充実を図るために必要な事業

今後も、地域に根ざす大学として、本基金を活用しながらいわての未来づくりに貢献する人材育成と地域に貢献する取り組みをさらに広げていきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



**平成28年度収支(A-B) 330,587千円**



## 平成29年度の入学者選抜の状況

岩手県立大学では、入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、多様な選抜区分により学生の募集を行っています。

平成29年度入学者選抜においては、一般入試、AO入試、推薦入試、震災特別推薦入試、社会人入試などを実施し、実質倍率は4学部で3.1倍(昨年度0.3ポイント増)、大学院で1.0倍(同0.2ポイント減)、盛岡短期大学部で1.6倍(同0.1ポイント減)、宮古短期大学部で1.4倍(同0.2ポイント減)となっています。

本学では、高大連携事業や入試広報活動を通じて、入学志願者の確保に努めるとともに、全国的に大きく変わる平成33年度入学者選抜に対応するため、入試改善に向けた取組を行っています。

## 入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)

岩手県立大学のアドミッション・ポリシーは、「建学の理念」及び「大学の基本的方向」に基づいて定められています。

### 求める学生像

岩手県立大学の建学の理念と基本的方向に共感し、  
「深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間」として  
育成するのに相応しい学生

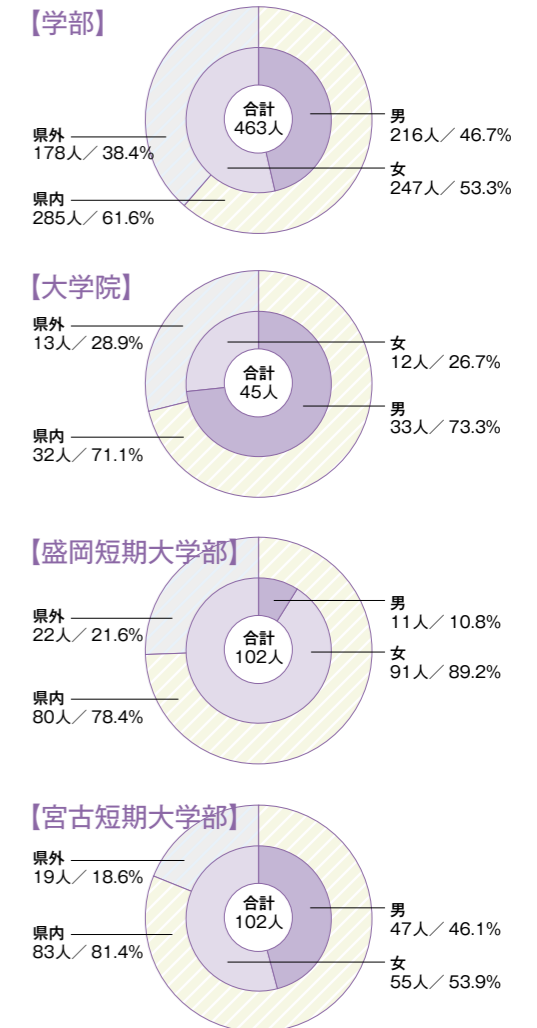
## 平成29年度入学者選抜結果

(単位:人、倍)

| 学部                      | 募集人員 | 志願者数  | 受験者数  | 合格者数 | 実質倍率 |
|-------------------------|------|-------|-------|------|------|
| 看護学部                    | 90   | 373   | 240   | 95   | 2.5  |
| 社会福祉学部                  | 90   | 375   | 289   | 102  | 2.8  |
| 社会福祉学科                  | 50   | 173   | 131   | 56   | 2.3  |
| 人間福祉学科                  | 40   | 202   | 158   | 46   | 3.4  |
| ソフトウェア情報学部              | 160  | 770   | 590   | 179  | 3.3  |
| 総合政策学部                  | 100  | 513   | 403   | 117  | 3.4  |
| 計                       | 440  | 2,031 | 1,522 | 493  | 3.1  |
| 学部(編入学)                 | 募集人員 | 志願者数  | 受験者数  | 合格者数 | 実質倍率 |
| 看護学部                    | 10   | 9     | 9     | 3    | 3.0  |
| 社会福祉学部                  | 10   | 17    | 17    | 9    | 1.9  |
| 社会福祉学科                  | 5    | 11    | 11    | 5    | 2.2  |
| 人間福祉学科                  | 5    | 6     | 6     | 4    | 1.5  |
| ソフトウェア情報学部              | 10   | 20    | 18    | 10   | 1.8  |
| 総合政策学部                  | 10   | 39    | 38    | 8    | 4.8  |
| 計                       | 40   | 85    | 82    | 30   | 2.7  |
| 大学院                     | 募集人員 | 志願者数  | 受験者数  | 合格者数 | 実質倍率 |
| 看護学研究科看護学専攻             | 20   | 10    | 10    | 10   | 1.0  |
| 社会福祉学研究科社会福祉学専攻         | 18   | 5     | 5     | 4    | 1.3  |
| ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻 | 50   | 29    | 29    | 28   | 1.0  |
| 総合政策研究科総合政策専攻           | 20   | 3     | 3     | 3    | 1.0  |
| 計                       | 108  | 47    | 47    | 45   | 1.0  |
| 盛岡短期大学部                 | 募集人員 | 志願者数  | 受験者数  | 合格者数 | 実質倍率 |
| 生活科学科                   | 50   | 147   | 121   | 69   | 1.8  |
| 生活デザイン専攻                | 25   | 89    | 78    | 38   | 2.1  |
| 食物栄養専攻                  | 25   | 58    | 43    | 31   | 1.4  |
| 国際文化学科                  | 50   | 138   | 115   | 82   | 1.4  |
| 計                       | 100  | 285   | 236   | 151  | 1.6  |
| 宮古短期大学部                 | 募集人員 | 志願者数  | 受験者数  | 合格者数 | 実質倍率 |
| 経営情報学科                  | 100  | 198   | 188   | 143  | 1.3  |

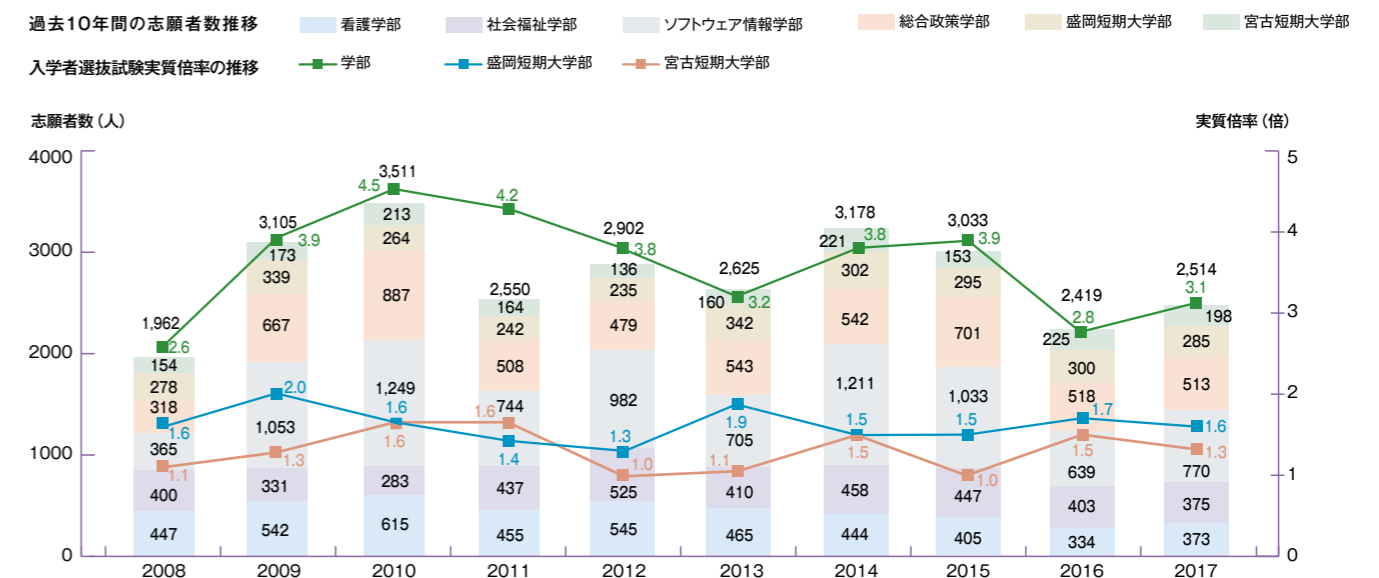
(注) 実質倍率=受験者数÷合格者数

## 平成29年度入学者の内訳



## 過去10年の入学者選抜状況

※編入学及び大学院を除く。



## column 4 高大連携の取組

本学では、高校生の学問への関心を高めるため、高校への出張講義や高校教員を対象とした大学見学会の開催など高大連携事業を広く展開しています。

なかでもキャンパス・アテンダントによるオープンキャンパスでの学生生活紹介や高校生対象のワークショップの開催、大学見学や高校訪問での説明は、学生目線を生かした本学の魅力を紹介する取組として、高校生などからも好評を得ているところです。

このほか、進学説明会への参加や保護者対象の入試相談会の開催などの志願者確保にも取り組んでいます。



キャンパス・アテンダント(学生による大学広報団体)による大学見学の様子

## 平成28年度の卒業生及び就職の状況

平成28年度の卒業生は、四大467人、大学院修了者51人、盛岡短大120人、宮古短大104人で計742人でした。

卒業生の進路ですが、四大は、就職内定者416人(うち県内181人、県外235人)、大学院進学29人、その他22人。盛岡短大は、就職内定者66人(うち県内41人、県外25人)、進学者43人、その他11人。宮古短大は、就職内定者71人(うち県内47人、県外24人)、進学者29人、その他4人でした。

就職内定率は、四大96.5%、盛岡短大90.4%、宮古短大97.3%でした。

## 平成28年度の卒業生の状況

平成28年3月卒業生における数値(単位:人)

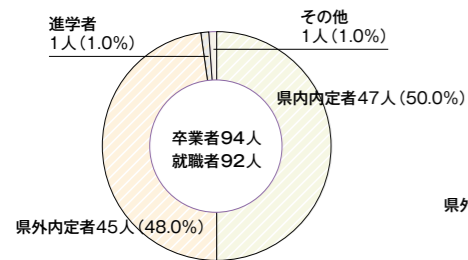
| 学部          | 看護学部    | 社会福祉学部  | ソフトウェア情報学部 | 総合政策学部   | 合計       |
|-------------|---------|---------|------------|----------|----------|
| 卒業生         | 94      | 102     | 152        | 119      | 467      |
| 就職内定者(うち県内) | 92 (47) | 99 (48) | 117 (25)   | 108 (61) | 416(181) |
| 就職内定率       | 100%    | 99.0%   | 93.6%      | 94.7%    | 96.5%    |
| 進学者         | 1       | 2       | 24         | 2        | 29       |
| その他         | 1       | 1       | 11         | 9        | 22       |

| 大学院修了者 | 看護学研究科 |      | 社会福祉学研究科 |      | ソフトウェア情報学研究科 |      | 総合政策研究科 |      | 合計 |
|--------|--------|------|----------|------|--------------|------|---------|------|----|
|        | 博士前期   | 博士後期 | 博士前期     | 博士後期 | 博士前期         | 博士後期 | 博士前期    | 博士後期 |    |
|        | 7      | 1    | 4        | 0    | 37           | 1    | 1       | 0    | 51 |

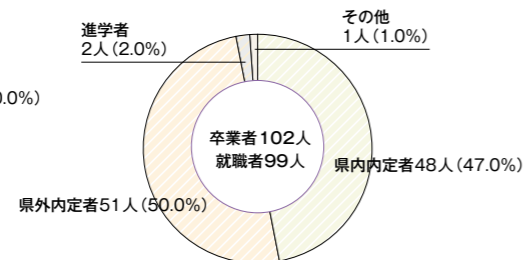
| 短大          | 盛岡短期大学部 | 宮古短期大学部 |
|-------------|---------|---------|
| 卒業生         | 120     | 104     |
| 就職内定者(うち県内) | 66 (41) | 71 (47) |
| 就職内定率       | 90.4%   | 97.3%   |
| 進学者         | 43      | 29      |
| その他         | 11      | 4       |

### 【上記データのグラフ】

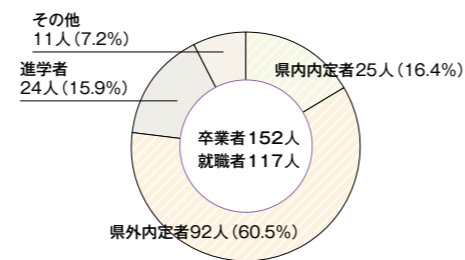
#### 【看護学部】就職率…100%



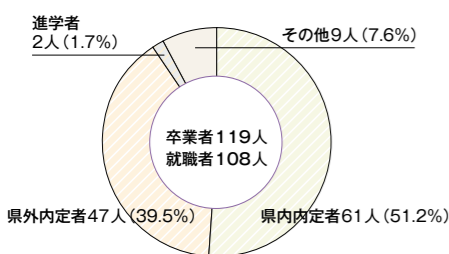
#### 【社会福祉学部】就職率…99.0%



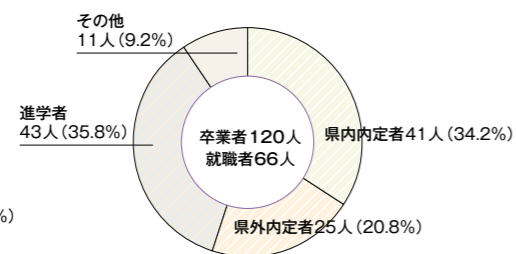
#### 【ソフトウェア情報学部】就職率…93.6%



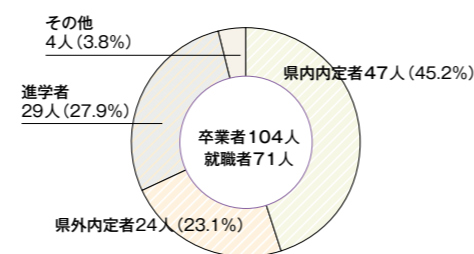
#### 【総合政策学部】就職率…94.7%



#### 【盛岡短期大学部】就職率…90.4%

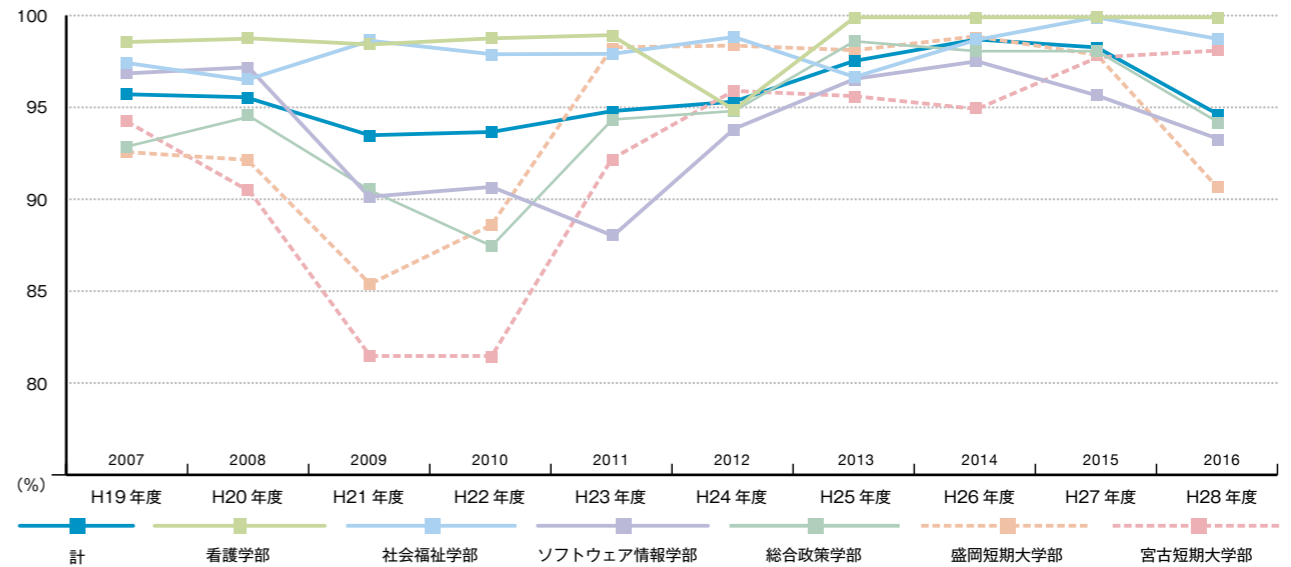


#### 【宮古短期大学部】就職率…97.3%

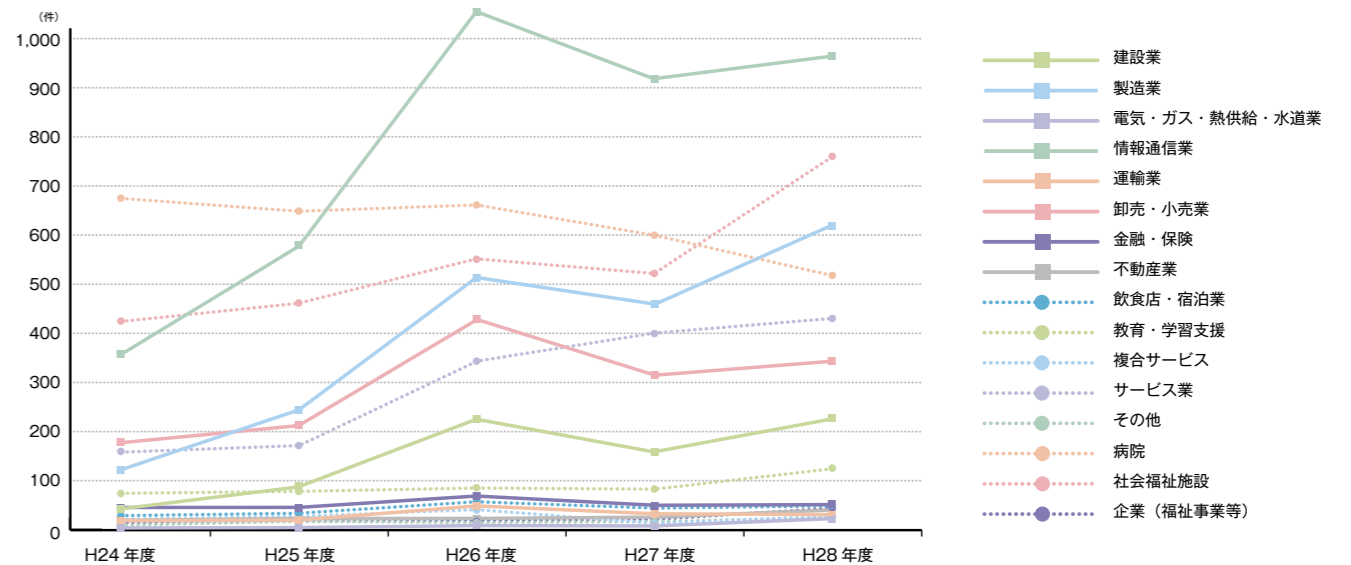


(注) 端数処理を行っているため、合計値が合わない場合があります  
(注) その他は、家事手伝い、進路未決定の者、未内定者等  
(注) 「就職率」は就職希望者に対する就職内定者の割合であり、平成29年3月31日現在の内定を以て決定しています

## 過去10年間の就職率の状況



## 過去5年間の求人の業種別状況



## column 4 必修授業におけるキャリア形成、就業力育成の取組

本学では、本部と各学部が協力して学生のキャリア形成、就業力育成に注力しています。総合政策学部では、3年生前期の必修授業「キャリア・デザインⅡ」において「正解のない課題解決をチームで行うこと」をテーマに実社会で通用する就業力の習得を目指す授業を展開中です。平成27年度からは盛岡駅ビルのフェザンとコラボレーションし、3年連続で地元企業の新商品開発を授業の題材にしています。平成29年度は「いわての名物パター」がテーマです。

授業では、銀河堂 1890 Sweets&Bakery(調理・販売)のシェフ、株式会社肉の横沢(白金豚の加工)と高源精麦株式会社(白金豚の生産)の経営者にご協力いただくことができました。まず学生

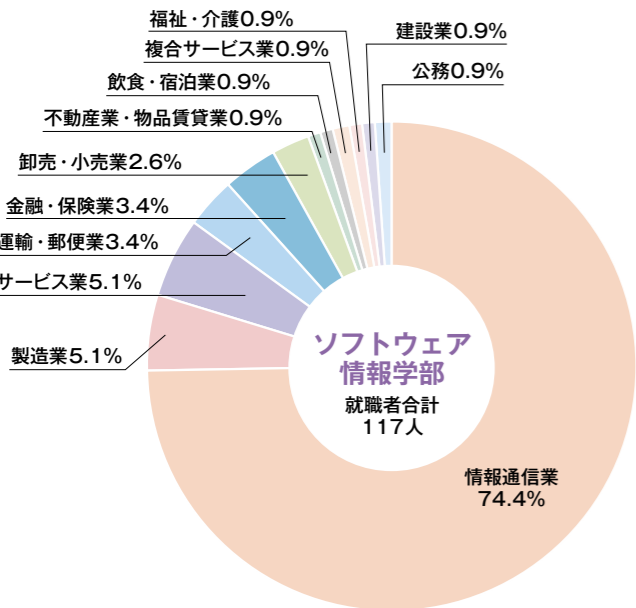
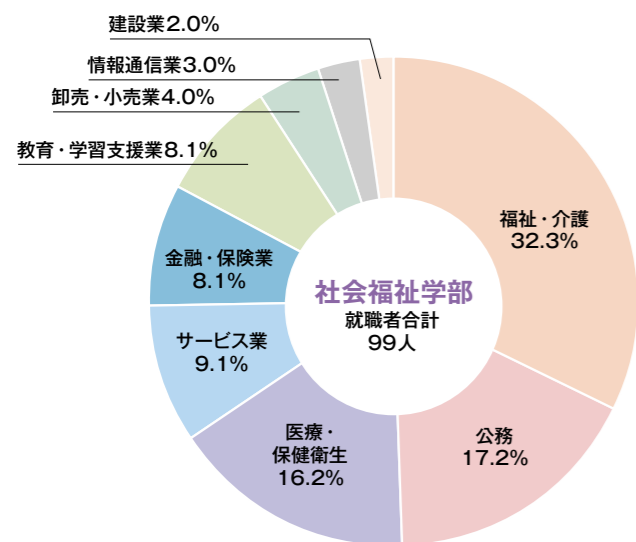
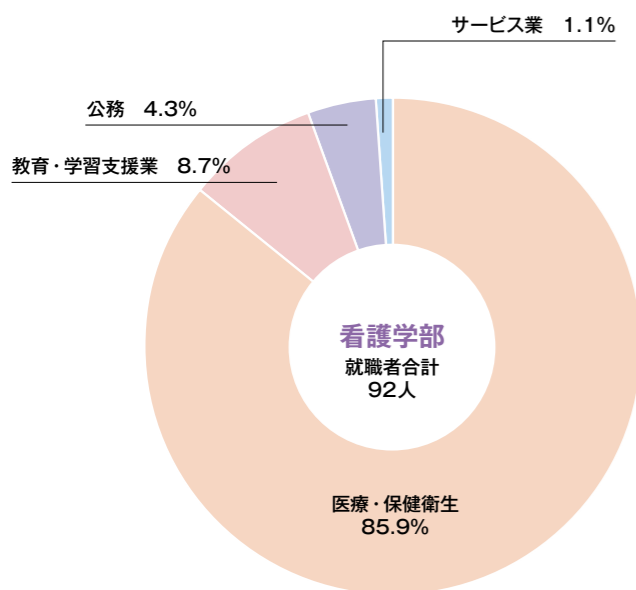
は、全員が自分の企画書を作成します。中盤からは4人でお互いの企画内容を共有し、チーム企画を作り上げていきました。終盤には全26チーム、全員が講堂のステージ上からのプレゼンテーションを行い、最優秀企画が選ばれました。学生は、SNSでの情報発信やパッケージ・ポスター等のデザイン、店頭での販売も行っています。



最終審査会に選ばれたチームとご協力いただいたみなさま

参考: <https://www.facebook.com/smile.charge.iwate/>

## 平成28年度卒業生の主な就職内定先



### 看護学部

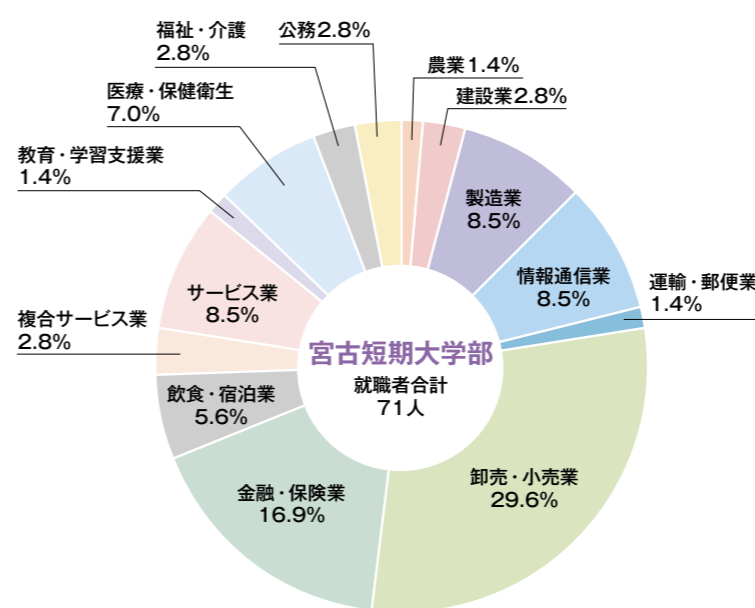
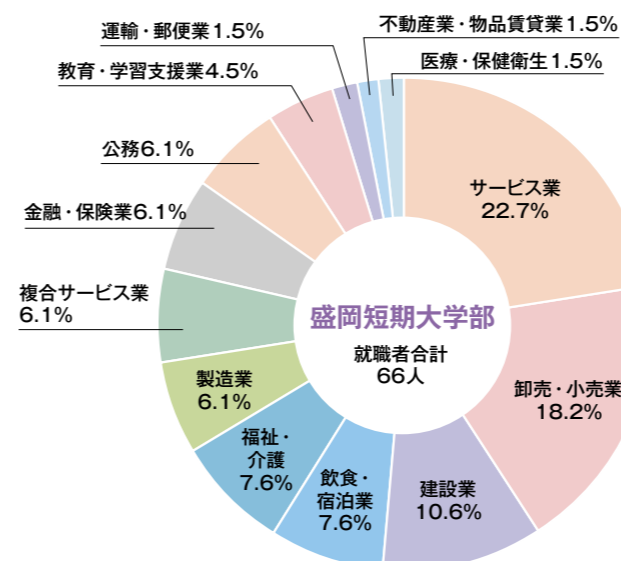
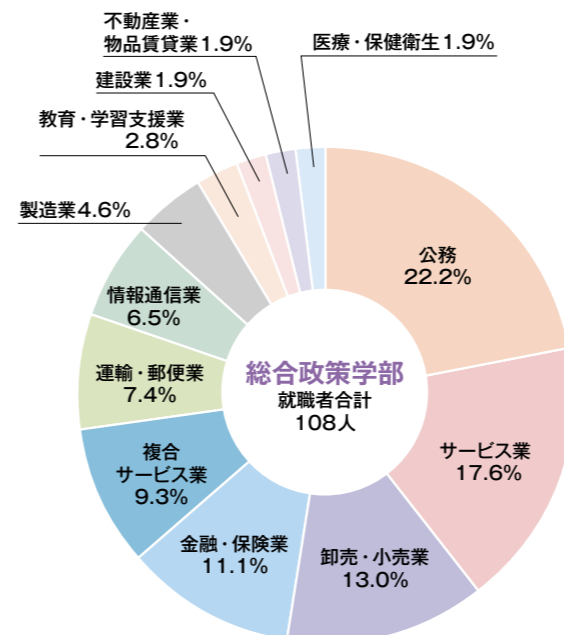
- 国公立病院/若手県医療局、国立病院機構盛岡病院、国立病院機構若手病院、盛岡市立病院、東北大学病院、宮城県立こども病院、北海道大学病院、千葉大学医学部附属病院、国立病院機構仙台医療センター、国立がん研究センター、国立国際医療研究センター病院、新潟市民病院
- 病院/若手医科大学附属病院、未来の風せいわ病院、盛岡赤十字病院、若手県対がん協会、仙台厚生病院、東北公済病院、日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、東京医科大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学病院東病院、昭和大学藤が丘病院、東邦大学医療センター大森病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、谷津保健病院、東京武蔵野病院、永寿総合病院、座間総合病院、スズキ記念病院
- 学校教育等/若手県教育委員会(養護教諭)、北海道教育委員会(養護教諭)、青森県教育委員会(養護教諭)
- 公務(保健師)/盛岡市、滝沢市、紫波町、葛巻町

### 社会福祉学部

- 福祉団体・施設等/(社福)若手県社会福祉事業団、(社福)盛岡市社会福祉事業団、(社福)秋田県社会福祉事業団、二戸市社会福祉協議会、宮古市社会福祉協議会、紫石町社会福祉協議会、田野畑村社会福祉協議会、(社福)光林会、(社福)紫波会、(社福)典人会、(社福)幸生会、(社福)すずらんの会、(社福)横浜市福祉サービス協会、(社福)若手愛児会、(社福)盛愛育会盛保育園、(社福)土淵朗親会、(社福)愛育会、(社福)宇田会あおぞら村一番地保育園、(社福)愛光福祉会、(社福)仙台キリスト教育院、(社福)檸檬会レイモンド花畑保育園、(社福)ゆたか会
- 病院/盛岡医療生活協同組合、(社医)盛岡觀山荘病院、(医)敬和会、未来の風せいわ病院、国立病院機構東北、戸田中央医療グループ、大田綜合病院、(医)仁愛会都南病院、(社医)横手興生病院、(医)松田会
- 一般企業/㈱ワイズマン、㈱東北銀行、㈱大東銀行、㈱三田商店、㈱陽だまり工房、若手トヨタ自動車㈱、㈱若手ホテルアンドリゾート、㈱ソクイ、NTT東日本㈱、㈱北州、損保ジャパン日本興亜㈱、あいおいニッセイ同和損害保険㈱、野村證券㈱、ひまわり信用金庫、㈱ニュートフイナンシャルコンサルティング、㈱マクロミル、㈱マイナビ、セントケアホールディングス㈱、㈱木下ホールディングス木下の保育、㈱小学館集英社プロダクション、㈱チャレンジドジャパン
- その他団体/生活協同組合コープ、若手県対がん協会、日本赤十字社若手県支部、JA全農若手県本部、JA共済連若手、JA共済連新潟、JA秋田厚生連、JAいわて花巻
- 学校教育等/(学法)紅葉学園認定こども園矢巾中央幼稚園、(学法)宝田学園英明幼稚園、(学法)創路キリスト教学園創路めぐみ幼稚園、(学法)沼田学園しげる幼稚園、(公)秋田県立大学
- 公務/若手県(福祉)、宮古市(一般事務)、一関市(福祉)、青森県(福祉)、福島県(福祉)、山形県(福祉・心理)、仙台市(福祉・保育士)、気仙沼市(福祉・保育士)、五戸町

### ソフトウェア情報学部

- 情報通信業・製造業/【若手県】(株)アイシーエス、(株)アイソプラ、若手インフォメーション・テクノロジー(株)、(株)ヴェス、(株)システムベース、(株)ネクスト、(株)リードコナン、(株)ワイズマン【北海道・東北地区】(株)S R A東北、(株)シグマソリューションズ、シグマトロン(株)、(株)東北システムズ・サポート、テクノ・マインド(株)、リコージャパン(株)【首都圏ほか】(株)アルプス技研、インクメントP(株)、(株)インターネットインシアティブ、S C S K(株)、N R I データテック(株)、NTTコムウェア(株)、NTTデータアイ、NTTデータシステム技術(株)、(株)N T T-ME、(株)OKIソフトウェア、(株)NTTパブリック(株)、(株)オープンストリーム、サイバーコム(株)、JBグループ、(株)ジャストテック、第一生命情報システム(株)、テックスエンジニアリング(株)、(株)DNPデジタルコム、東京システムズ(株)、トーテックアムニティ(株)、トランス・コスモス(株)、ドコモ・システムズ(株)、ドコモ・テクノロジ(株)、日本アイ・ピー・エム テクニカル・ソリューション(株)、(株)日本ビジネスシステムズ、農中情報システム(株)、(株)ハイマックス、(株)日立システムズ、(株)日立ソリューションズ、富士通エス・アイ・ピー・システムズ(株)、(株)富士通システムズ・イースト、(株)富士通マーケティング、(株)ミクニ、(株)Mini or iソリューションズ、ヤフー(株)、横河電子機器(株)
- その他の企業等/若手県北自動車(株)、(株)北日本銀行、十文字チキンカンパニー(株)、日本郵便(株)、日盛ハウジング(株)、(株)日本ハウスホールディングス、東日本旅客鉄道㈱盛岡支社、(社福)悠和会、(株)アイテム、アイリスオーヤマ(株)、(株)ガリバーインターナショナル、(株)幸楽苑ホールディングス、(株)七十七銀行、(株)ジョイフルまるやま、(株)タカヤナギ、(株)第一興商、(株)バイタルネット、東日本旅客鉄道(株)、(株)福島銀行、(株)プレミアムフィナンシャルサービス(株)、八千代エンジニアリング(株)
- 公務・団体等/ JA若手県中央会、盛岡商工会議所、広尾町役場



### 総合政策学部

- 公務/国家一般、国税専門官、青森労働局、若手県(行政)、若手県(一般事務、警察事務)、山形県、宮古市、大船渡市、花巻市、一関市、滝沢市、仙北市、富谷町、若手県警察、埼玉警察
- 金融・保険業/㈱若手銀行、(株)東北銀行、一関信用金庫、(株)七十七銀行、東北労働金庫、(株)商工組合中央金庫、東京海上日動火災保険(株)、三井住友海上火災保険(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)東海日動パートナーズ東北、明治安田生命保険相互会社、三井住友海上あいおい生命保険
- 製造業/アルプス電気(株)、アイシン東北(株)、菊の司酒造(株)、住田フーズ(株)
- 運輸業/東日本旅客鉄道(株)、日本郵政(株)東北支社
- 卸・小売業/㈱ココロマタイヤジャパン、(株)葉王堂、イオンリテール(株)、(株)イオンスーパーセンター、(株)三田商店、(株)小田島、(株)ツルハ、(株)ユニバース、(株)サンデー、日新スズキ販売(株)
- 情報通信業/㈱若手めんこいテレビ、(株)ワイズマン、(株)ゴーイング・ドットコム、(株)シエンシステム
- その他企業等/㈱JTB東北、(株)ジェイアール東日本企画、(株)ターミナルビル(株)、積水ハウス(株)、(株)アート不動産、(株)シリウス、トヨタホームとうほく(株)、国立研究開発法人森林総合研究所森林整備センター、砂防エンジニアリング(株)、アディーレ法律事務所、(株)マクロミル、(株)マイナビ、(株)ディスコ、エン・ジャパン(株)
- 団体等/(公財)若手県予防医学協会、盛岡医療生活協同組合、JA共済連、JA全農若手県本部、JA若手県信連、若手県農業共済組合、JAいわて中央、JA新いわて、JAいわて花巻、八戸商工会議所
- 学校教育等/若手県教育委員会(公立中学校教員:社会科)、北海道教育委員会(公立中学校教員:社会科)、(学)若手医科大学、(株)エムシーエス生涯学習センター

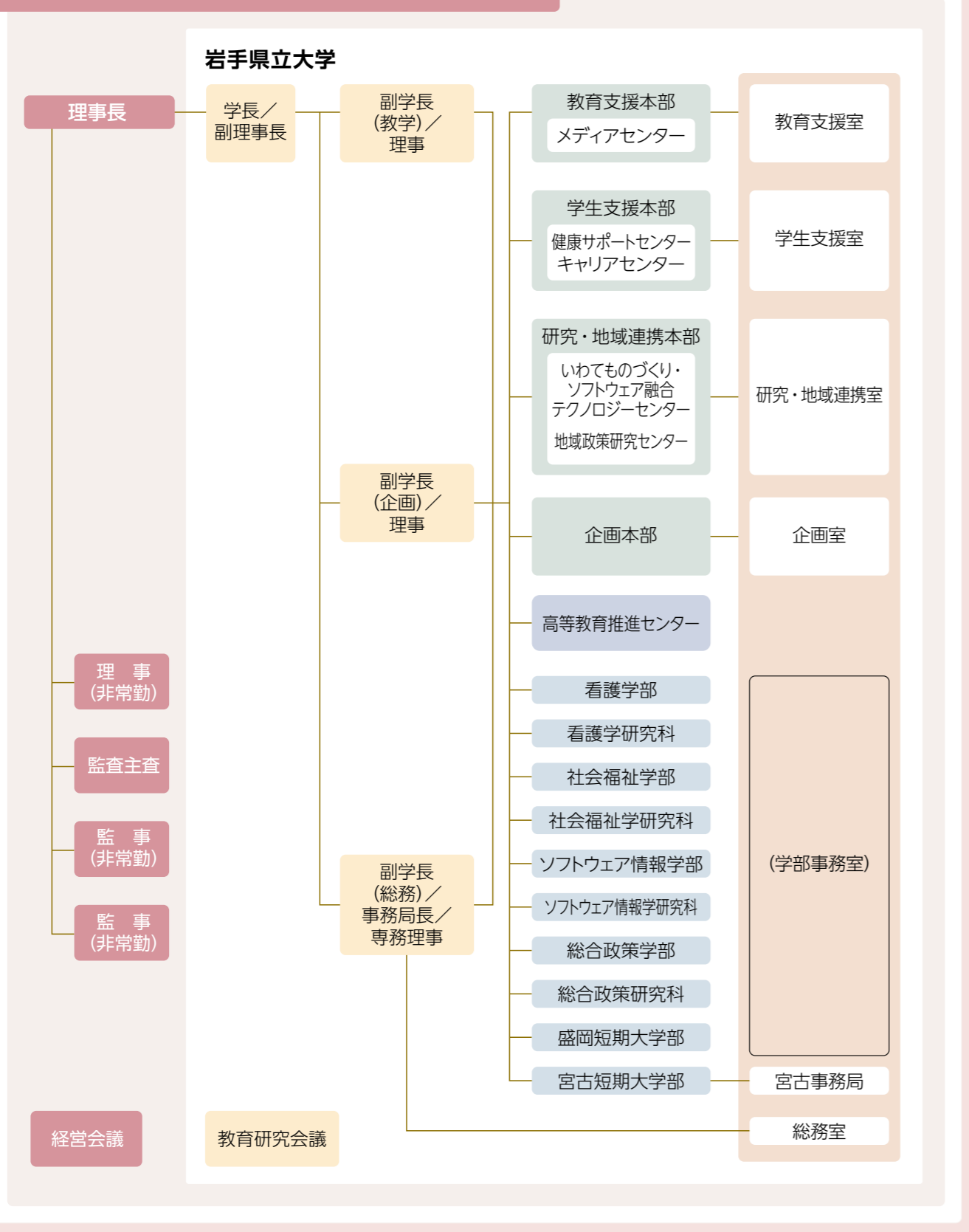
### 盛岡短期大学部

- 金融・保険業/㈱日専連パートナーズ、(株)若手銀行、アクサ生命保険(株)
- サービス業(栄養士)/日清医療食品(株)、(株)メフォス、(株)LEOC(レオック)、シダックス(株)、エムサービス(株)、葉隠勇進(株)
- 製造業/通研電気工業(株)、(株)トースト、(株)若手缶詰(栄養士)
- 建設業/㈱日盛ハウジング、(株)美弥ハウス、(株)コサカ技研、(株)ナカノフード建設、(株)リベスト、花住ホーム(株)、タクミホーム(株)
- 卸・小売業/葉王堂、日新スズキ販売(株)、日産チェリー若手販売(株)、(株)稲沢商会、(株)丸大サクラ車業局
- 飲食・宿泊業/㈱若手ホテル&リゾート、ルートインジャパン(株)
- 教育・学習支援業/国立大学法人(東北地区)
- 運輸・郵便業/㈱ふるさと交通
- 不動産業/㈱アート不動産
- その他の企業等/北部上北広域事務所、JA津軽みらい、(株)ジュン、イオンリテール(株)、イオンスーパーセンター(株)、JA江刺、(株)マイナビ、JA新いわて、英智学館(株)、アーバン(株)
- 医療・福祉[栄養士]/(社福)悠和会 銀河の里、(社福)土淵朗親会、(社福)ときわ会ときわ保育園、(社福)明照学園 認定こども園ともいぎ、(学)カナン学園 三愛学舎
- 医療・福祉/亀岡町通クリニック
- 公務/若手県、金石市、葛巻町、大熊町

### 宮古短期大学部

- 建設業/㈱夢真ホールディングス、(株)宮古電工
- 製造業/双日食料水産(株)、(株)シントリー、タカハタ(株)、UTエイム(株)
- 情報通信業/日本ICS(株)、(株)ノーザンシステムサービス、(株)デジタルトラスト、(株)NTT東日本東北、イーストライズ(株)
- 金融・保険業/盛岡信用金庫、宮古信用金庫、若手県農業共済組合、(株)若手銀行、(株)セントラルパートナーズ 東北支店、(株)かんぽ生命保険
- 複合サービス/八戸農業協同組合、南三陸農業協同組合
- サービス業/㈱全日登、(株)ノースブライト、(株)マーシュ、(株)ビューネル、(株)APパートナーズ、(有)若手中央警備保障
- 運輸・郵便業/㈱ふるさと交通
- 卸売・小売業/日産プリンス若手販売(株)、若手日産自動車(株)、若手トヨタ自動車(株)、(株)葉王堂、いわて生活協同組合、イオンスーパーセンター(株)、紅屋商事(株)、(株)ユニバース、(株)ベルジョイス、(株)ツルハ、(株)コメリ
- 飲食・宿泊業/㈱新鉛温泉結ぶの宿愛隣館、(株)はま寿司、(株)北斗、(有)あじさい
- 医療・福祉/(社福)典人会、(社福)川井心生会、宮古第一病院、三陸病院、後藤泌尿器科皮膚科医院
- 教育・学習支援業/盛岡市立高等学校(事務補助)
- 公務/矢巾町、山田町役場

## 公立大学法人岩手県立大学



## 役員

| 公立大学法人岩手県立大学 |        |                              |         |
|--------------|--------|------------------------------|---------|
|              | 岩手県立大学 | 盛岡短期大学部                      | 宮古短期大学部 |
| 理事長          | 遠藤 達雄  | 学長                           | 鈴木 厚人   |
| 副理事長         | 鈴木 厚人  | 副学長(教学)                      | 齋藤 俊明   |
| 専務理事         | 堀江 淳   | 副学長(企画)／企画本部長                | 石堂 淳    |
| 理事           | 齋藤 俊明  | 副学長(総務)／事務局長                 | 堀江 淳    |
| 理事           | 石堂 淳   | 教育支援本部長                      | 高橋 聡    |
| 理事(非常勤)      | 熊谷 隆司  | 学生支援本部長                      | 似鳥 徹    |
| 監事(非常勤)      | 榎田 裕之  | 研究・地域連携本部長                   | 渡邊 慶和   |
| 監事(非常勤)      | 三河 春彦  | 高等教育推進センター長                  | 齋藤 俊明   |
|              |        | 看護学部長<br>看護学研究科長             | 短期大学部長  |
|              |        | 武田 利明                        | 千葉 俊之   |
|              |        | 社会福祉学部長<br>社会福祉学研究科長         | 短期大学部長  |
|              |        | 狩野 徹                         | 田中 宣廣   |
|              |        | ソフトウェア情報学部長<br>ソフトウェア情報学研究科長 |         |
|              |        | 猪股 俊光                        |         |
|              |        | 総合政策学部長<br>総合政策研究科長          |         |
|              |        | 吉野 英岐                        |         |

## 教職員数

|             | 岩手県立大学     | 盛岡短期大学部    | 宮古短期大学部   |
|-------------|------------|------------|-----------|
| 教授          | 70         | 9          | 4         |
| 准教授         | 60         | 7          | 6         |
| 講師          | 48         | 6          | 4         |
| 助教          | 10         | 3          | 0         |
| 助手          | 12         | 0          | 1         |
| 研究員等        | 3          | 0          | 0         |
| <b>教員計</b>  | <b>203</b> | <b>25</b>  | <b>15</b> |
| 職員          |            | 170        |           |
| <b>教職員計</b> |            | <b>413</b> |           |



※全て平成29年5月1日現在

## 岩手県立大学 アクセスマップ

### 滝沢キャンパスまでの経路

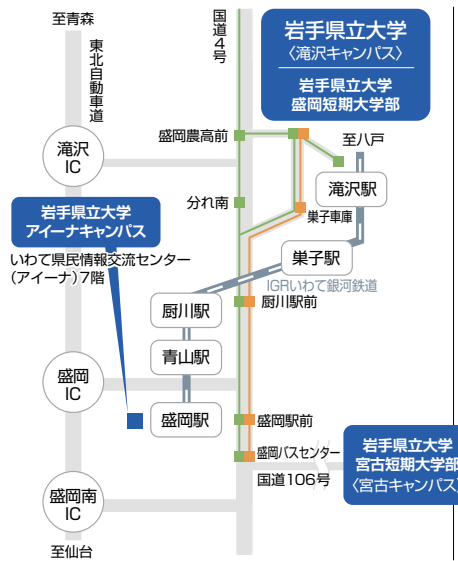
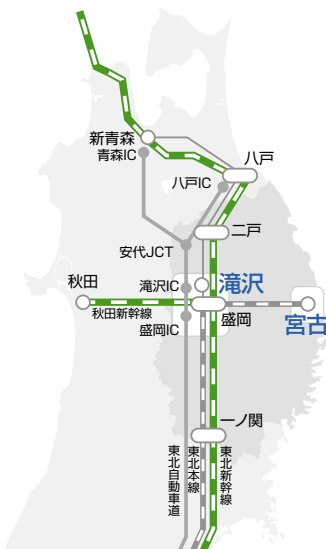
■バスで  
「盛岡駅東口バス停②」から岩手県交通または岩手県北バスで約40分、「県立大学前」バス停下車すぐ。

■鉄道で  
IGRいわて銀河鉄道「盛岡駅」から15分、「滝沢駅」下車、徒歩約15分。  
※「滝沢駅前」から「県立大学前」までの路線バスもあります。

■車で  
東北自動車道「滝沢IC」から約5分(国道4号を青森方面へ出て、2つめの交差点を右折してすぐ)。

### アイーナキャンパスまでの経路

盛岡駅西口から徒歩3分



### 宮古キャンパスまでの経路

盛岡から106急行バスまたはJR山田線で宮古駅まで約2時間。宮古駅「のりば2番線」から八木沢団地行乗車「八木沢一丁目」下車徒歩10分。

